

発表項目 (行事名)	令和7年度(2025年度)北方領土中学生作文コンテストの実施結果について															
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者														
		発表場所														
概要	令和7年度(2025年度)北方領土中学生作文コンテストの実施結果を発表します。															
	<ol style="list-style-type: none"> 募集期間 令和7年(2025年)5月26日(月)から10月6日(月)まで 応募作品数 300作品(17校) 選考会概要 <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催年月日</th> <th colspan="2">選考員(作文選考の専門家、北方領土関係団体など5名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">令和7年 11月11日(火)</td> <td>北海道国語教育連盟</td> <td>米田 朋弘</td> </tr> <tr> <td>(独)北方領土問題対策協会</td> <td>戸澤 勇真</td> </tr> <tr> <td>(公社)北方領土復帰期成同盟</td> <td>後藤 博宣</td> </tr> <tr> <td>(公社)千島歯舞諸島居住者連盟</td> <td>勝部 倫行</td> </tr> <tr> <td>北海道総務部北方領土対策本部</td> <td>金野 浩知</td> </tr> </tbody> </table> 選考結果 ○最優秀賞:1名 ○優秀賞:4名 ○佳作:5名 ○奨励賞:6名 入賞作品の活用 <ul style="list-style-type: none"> 道ホームページに入賞作品を公開(令和7年12月11日) 新聞広告に最優秀賞作品を掲載(令和8年2月7日予定) 北方領土中学生作文コンテスト入賞作品集(冊子)の配布(令和8年3月頃) 北方領土対策本部公式YouTubeチャンネルに最優秀賞受賞者による朗読動画を掲載(令和8年3月頃) 			開催年月日	選考員(作文選考の専門家、北方領土関係団体など5名)		令和7年 11月11日(火)	北海道国語教育連盟	米田 朋弘	(独)北方領土問題対策協会	戸澤 勇真	(公社)北方領土復帰期成同盟	後藤 博宣	(公社)千島歯舞諸島居住者連盟	勝部 倫行	北海道総務部北方領土対策本部
開催年月日	選考員(作文選考の専門家、北方領土関係団体など5名)															
令和7年 11月11日(火)	北海道国語教育連盟	米田 朋弘														
	(独)北方領土問題対策協会	戸澤 勇真														
	(公社)北方領土復帰期成同盟	後藤 博宣														
	(公社)千島歯舞諸島居住者連盟	勝部 倫行														
	北海道総務部北方領土対策本部	金野 浩知														
参考	【添付書類】 <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度(2025年度)北方領土中学生作文コンテスト入賞者一覧 最優秀賞作文 															
報道(取材) に当たって のお願い																
他のクラブ との関係	同時配付 同時レク	道政記者クラブ 根室振興局記者クラブ														
担当 (連絡先)	石狩振興局総務課(担当者:平澤) TEL ダイヤルイン 011-204-5801 内線 34-101 公用スマホ 011-585-6101 (内線13298)															

令和7年度（2025年度）北方領土中学生作文コンテスト入賞者

賞	市町村名	氏名	学校名	学年	題名
最優秀賞	札幌市	藤井 滉希	札幌市立厚別北中学校	1	北方領土問題を未来へつなげるために
優秀賞	根室市	立野 恋	根室市立光洋中学校	3	後世につなぐために。
優秀賞	札幌市	伊藤 愛未	札幌市立前田中学校	2	私の理想の四島
優秀賞	札幌市	洪 有貴子	札幌市立真駒内中学校	1	対話からはじまる返還への道
優秀賞	札幌市	岡和田 悠希	札幌市立八条中学校	1	北方領土の理解を深めるために
佳作	札幌市	三浦 かりん	札幌市立稲積中学校	2	知ること つながること
佳作	旭川市	鈴木 音葉	旭川市立広陵中学校	2	情報の海に流されずに
佳作	八雲町	目谷 進一郎	八雲町立落部中学校	2	どうしても良くない、すぐ近く
佳作	旭川市	小林 凜月	旭川市立広陵中学校	2	知ろうとすることから始めたい
佳作	下川町	小林 純太郎	下川町立下川中学校	1	北方領土問題の解決には
奨励賞	広尾町	餅野宮 怜美	広尾町立広尾中学校	3	私の考える北方領土問題
奨励賞	北広島市	大川 遥輝	札幌日本大学中学校	2	平和へのかけ橋
奨励賞	根室市	兒玉 光由	根室市立柏陵中学校	2	領土の未来
奨励賞	大樹町	佐藤 龍寿	大樹町立大樹中学校	2	北方領土問題について考える
奨励賞	札幌市	向 志晏	札幌市立厚別北中学校	1	近くて遠い北方領土
奨励賞	旭川市	水野 優翔	旭川市立広陵中学校	2	今こそ考えたい北方領土のこと

【最優秀賞】

北方領土問題を未来へつなげるために

札幌市立厚別北中学校

1年 藤井 滉希

僕が住む北海道では、北方領土問題は身近な問題として教わりました。小学生の頃、北方領土について調べたとき、僕はまず、日本とロシアの間に大きな考え方の違いがあることを知り、とても驚きました。日本は、昔から平和的な話し合いで国境が決められてきた歴史を大切にしている、国際法に基づいた領土の決め方を「正しさ」と主張しています。でも、ロシアは、第二次世界大戦の結果として領土が決まったのだと考えていて、その真実こそが「正しさ」だと思っているようです。まるで、お互いが違う辞書を読んで、違う辞書を信じているように感じられました。

でも、一番心を動かされたのは、元島民の方々の話でした。戦前に故郷で暮らし、今も帰ることができずにいる方々がいることを知って、僕はとても胸が締め付けられる思いがしました。テレビで、遠くから故郷の島を眺める高齢の元島民の方の姿を見たことがあります。故郷に帰りたくても帰れない、お墓参りすら自由に行えないという状況は、どんなに辛いだろうかと想像しました。この問題は、単なる国と国との間の領土争いではなく、一人ひとりの人生や家族の歴史が関わる、とても大切な人道問題なのだ強く感じました。そして、元島民の方々が持っている故郷の記憶や思いを、僕たち若い世代がしっかりと受け継いでいくことが、とても大切だと考えました。

最近のニュースでは、ロシアとウクライナの戦争の影響で、北方領土問題の解決がさらに難しくなっていると聞きました。これまで続いてきた交流事業も止まってしまい、ますます遠い存在になってしまったように感じます。正直に言って、この問題がすぐに解決するとは思えません。国同士の関係が冷え込んでいる中で、話し合いを続けるのはとても大変なことだと思います。

だからこそ、僕たち中学生ができること、そして僕たちにしかできないことがあると思っています。それは、この問題を「遠い国の昔話」にしないことです。学んだことを忘れず、元島民の方々の声に耳を傾け、この問題に関心を持ち続けることが第一歩だと信じています。たとえ政治的な解決が難しくても、人々の心と心のつながりは決して途絶えさせてはいけないと思います。北方領土の歴史や文化について学び、友達や家族と話し合うことで、この問題に対する意識を広げたいです。

将来、僕たちが大人になったとき、対話の扉が再び開かれる日が来るかもしれません。そのときに、この問題についてしっかり考え、行動できる人になるために、今できることを少しずつ続けていきたいです。そして、いつか、元島民の方々が安心して故郷の土を踏むことができる日が来ることを、心から願っています。